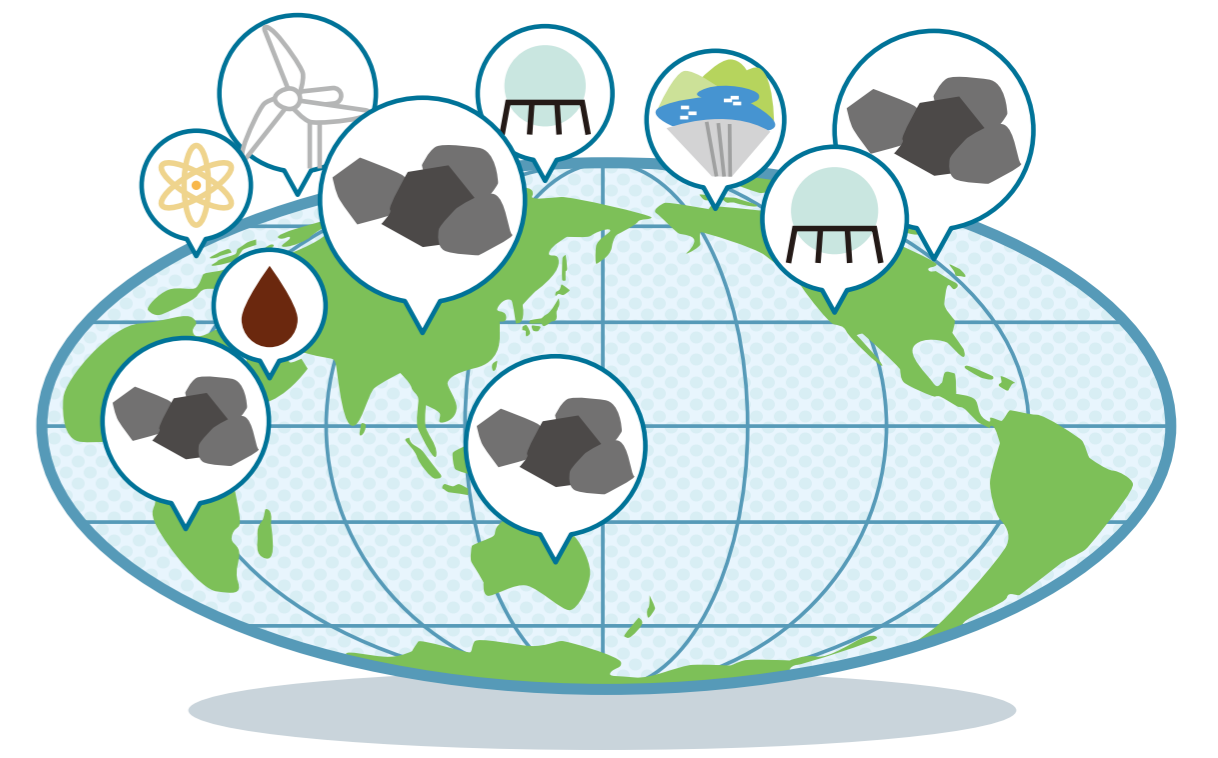


世界のエネルギー事情



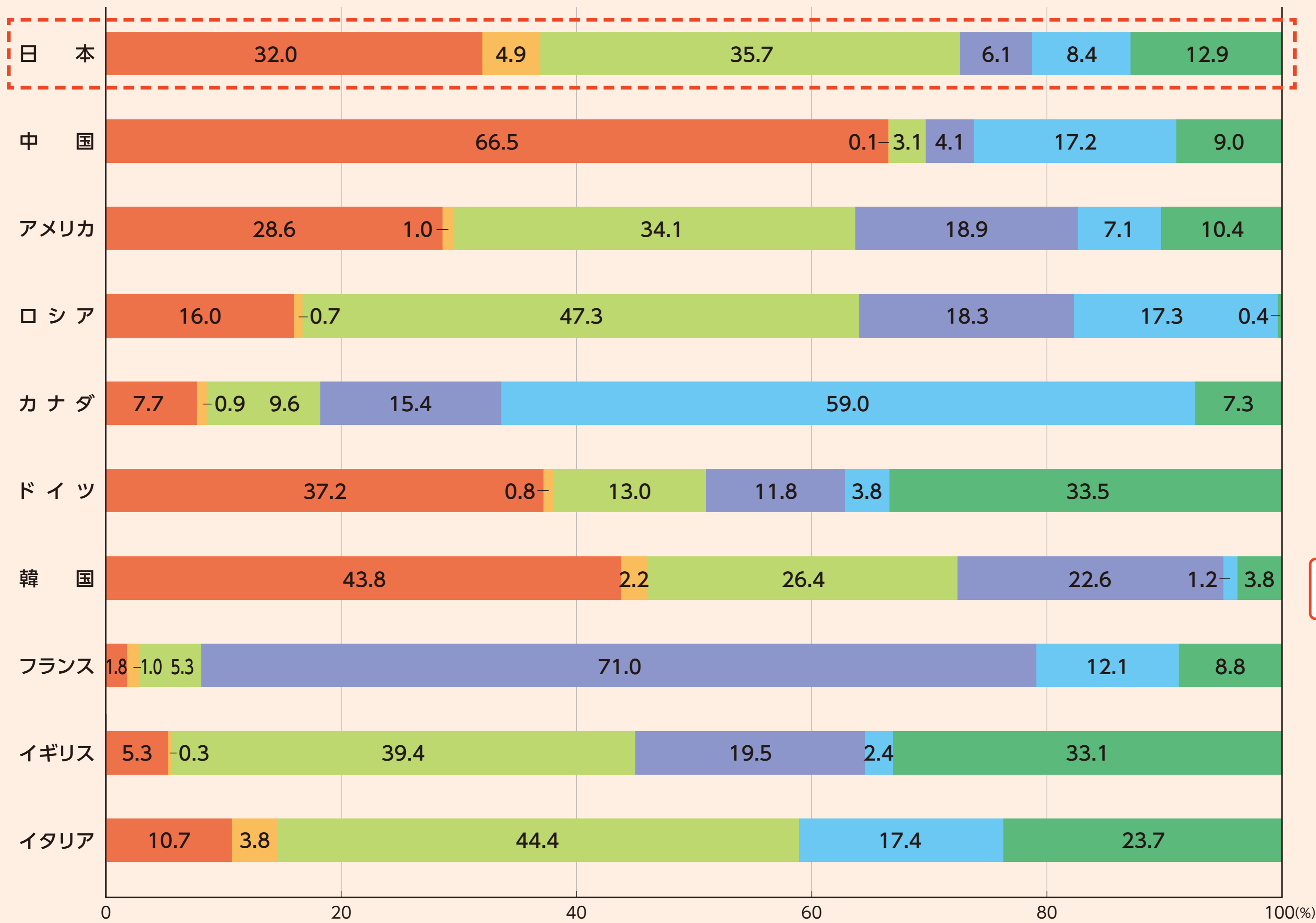
国によって違う電源構成

今日、電気はなくてはならない重要なエネルギーです。どうやって電気を作るかはエネルギー資源の有無、自然

条件、エネルギー政策などさまざまな事情により、国によって違いがあります。

主要国の電源別発電電力量の構成比(2018年)

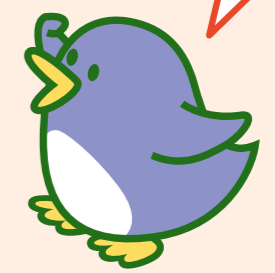
石炭 石油 天然ガス 原子力 水力 再エネ・輸入など



中国・ドイツは石炭資源が豊富



カナダは水資源が豊富



フランスは原子力発電が7割以上



(注)四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある
出典「IEA「Data and statistics」より作成

Column

日本とヨーロッパの違い

日本と同様にフランスやイタリアはエネルギー資源に乏しい国ですが、国境を越えて送電線が張りめぐらされているヨーロッパでは、電気の輸出入が盛んに行われています。一方、島国である日本は、海外と送電線で結ばれていません。また、ヨーロッパは偏西風によって1年を通して安定した電力が得られるため風力発電が普及しています。ところが、日本

には安定的に風が吹く場所が少ないうえ、台風対策や風車の騒音など風力発電にはまだまだ課題があります。



日本は自分で電気をつくらないといけないんだね。